



ニュースレター

インタビュー 国産材利用の推進とパネ協の内装建築部品

パネ協はこのほど、元林野庁長官の本郷浩二氏にインタビューの機会をいただきました。本郷氏は、1982年に林野庁に入庁し、青森営林局で森林調査、造林・収穫事業などの現場業務を担当した後、JICA長期派遣専門家として、SAFODA(マレーシア・サバ州森林開発公社)における造林技術開発、訓練を担当。帰国後、熊本営林局小林営林署長、福井県林政課長として国有林・民有林の林業、森林整備、木材生産の事業や施策の実行に当たった後、林野庁において要職を歴任。2019年林野庁長官に就任、2021年退職後、同年11月より全国木材組合連合会とパネ協も賛助会員として参画している木材利用推進中央協議会の両団体の副会長に就任されました。



全国木材組合連合会副会長
木材利用推進中央協議会副会長
本郷 浩二氏

インタビューの冒頭に本郷副会長は「我が国の国土の2/3を占める森林の4割が人工林で、植林後50年以上を経て利用時期を迎えている。2021年に施行された『都市(まち)の木造化推進法』の効果は大きく、近年公共建築物はもとより民間建築物の木造化・木質化が進んでいる。今後は、非住宅の木造化や外国産の木材から国産材への転換により、国産材の需要全体を大きくすることが、持続的な林業の経営と円滑な木材供給を図るうえで重要」とコメント。

パネ協の東京ショールームを視察いただいた後、本郷氏は、「内装パネル工法は現場の省人化に貢献できる。最近ではサッシや電気系統も一体化した大型構造パネルも登場している。不燃木材NMウッドについては内装材としての活用実績は十分にあるが、さらに外装材としてどこまで使えるかが課題。白華抑制についての第三者の認証が得られればユーザーに訴求するうえで有効」と指摘。また、「台形集成材を用いた家具や木製学校間仕切り(エコール)も印象に残った」としたうえで、木製サッシ窓(オリンピア)について、「消費者にさらにアピールするためにはインテリアとして認識してもらう必要があるのではないか」とのコメントをいただきました。

さらに、「パネ協の個々の組合員の経験と技術を協同組合として結集して、木材活用推進のために活かしていただきたい。そのためにも、木材利用による地球環境保全効果や木材を用いた空間の快適性や心身面や生産性に与える好影響などを強調することはたいへん効果的ではないか」とのアドバイスをいただきました。

本郷浩二副会長のプロフィール

1982年3月	京都大学農学部卒業
1982年4月	林野庁に入庁
2009年4月	林野庁業務課長
2009年10月	林野庁経営企画課長
2010年7月	林野庁計画課長
2013年7月	林野庁森林整備部長
2016年8月	林野庁国有林野部長
2018年7月	林野庁次長
2019年7月	林野庁長官
2021年7月	退職
2021年11月	全国木材組合連合会 及び 木材利用推進中央協議会副会長 (現職)

パネ協 24年度 国産材使用実績約5700m³ 炭素貯蔵量約4010トン

パネ協における2024年度の国産材の使用実績は5,704m³となり、林野庁のガイドラインに基づいて計算した炭素貯蔵量(CO₂換算量)は約4,010トンとなりました。使用した国産材のうち約56%は、使用される地域で生産された地場産材が占めています。

4010トンは
10ha(東京ドームの2.1倍)のスギ林が
1年間に吸収する二酸化炭素量
45年分に相当します

パネ協は、集合住宅の間仕切りや棚などの各種木質パネルの芯材、床の下地や仕上げ材、小・中学校や福祉施設の内外装や家具、建具、手すりに加え外構にも地場産材をはじめとする国産材を積極的に活用しています。



パネ協の商品紹介

システム収納

ミュレックス murex シリーズ わんにゃんだア

わんにゃんだアは、パネ協のシステム収納ミュレックスの一部をペットスペースとしてご利用いただけるよう、ドアを出入り可能な形状とした商品です。

場所をとるケージやトイレをシステム収納内部に設置することができ、お掃除しやすく人もペットも快適かつ安心して過ごすことができます。また、扉はメラミン化粧貼り、オレフィンシート貼りなどご要望に応じて対応が可能です。

このほど「ペット等との共生」をコンセプトとした東京都住宅供給公社(JKK東京)の賃貸住宅「カーメスト用賀馬事公苑」(東京都世田谷区)において、パネ協の「わんにゃんだア」をご採用いただきました。

また、わんにゃんだアと合わせてキャットウォークもパネ協にて施工いたしました。



キャットウォーク

わんにゃんだア

わんにゃんだアとキャットウォーク
(カーメスト用賀馬事公苑)

施工: 松井・松下建設共同事業体 竣工: 2025年8月



システム収納家具の扉を開くと...
その中にゆったりとした
ペットスペース

扉の色やデザインは家具本体に合わせてご用意できます。



プロジェクト紹介 金沢駅東広場木質化工事(石川県)

地場産杉集成材 不燃木材採用

このほど金沢駅東広場木質化整備工事が竣工しました。

金沢駅東広場は、兼六園などの歴史的景観が残された市街地に面している鉄道駅、バスターミナル等が集まる交通と観光の拠点で、ガラス大屋根「もてなしドーム」や「鼓門」が金沢市のシンボルとして親しまれています。

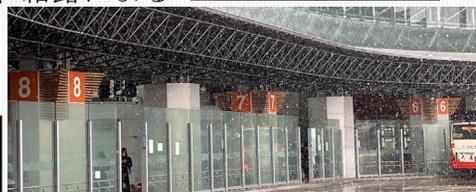
バスターミナルのバス停柱11本の装飾に、金沢市産杉集成材を用いた不燃木材(パネ協の賛助会員の加賀木材株式会社による「NMウッド」同等製品)が採用され、パネ協は加工と取付工事を担当いたしました。

パネ協の「NMウッド」は、確かな品質と安全性を備えた、国土交通大臣認定の不燃木材です。また金沢工業大学の露本伊佐男教授の特許技術により、リン酸系薬剤に代えて、ホウ酸系薬剤を用いることにより、結露による液だれがなく、白華が生じにくいという特徴があります。

なお、金沢駅においては、西口シェルターの軒天にも加賀木材株式会社の不燃木材が採用されています。



「鼓門」と「もてなしドーム」



東広場バスターミナルのバス停柱



西口シェルターの軒天

東広場所在地: 石川県金沢市木ノ新保町
設計: 株式会社金沢計画研究所
施工: ヤマザキ建設 株式会社 竣工: 2025年2月

トピックス NMウッド 中央試験場で白華抑制性能検証試験実施

パネ協は、2025年2月6日から3月17日まで中央試験場(埼玉県ふじみ野市)において、NMウッドの白華抑制性能を検証するための試験を実施しました。

試験方法は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる優良木質建材等認証(AQ認証)において、「白華抑制塗装木質建材」について実施する乾湿繰返し試験(屋内用)に準拠して行いました。

具体的には、各羽目板材製品から長さ200mmの試験体を2体採取し、木口面をエポキシ樹脂でシールしたのち、40℃ 90%RH24時間、60℃送風乾燥24時間を1サイクルとする乾湿繰返し試験操作を5サイクル行うというものです。

試験終了後に白華の程度を確認したところ、写真の通りホウ酸系薬剤を使用しているNMウッドは塗装品、無塗装品とも白華が認められませんでした。比較のためにリン酸系薬剤を使用した他社製品について同時に試験したところ白華が顕著に認められました。



NMウッド 塗装品



NMウッド 無塗装品



リン酸系薬剤を使用した他社製品



環境試験機による 乾湿繰返し試験実施状況 (パネ協中央試験場)

NMウッド採用プロジェクト モニタリング調査

パネ協は、2025年4月14日および16日に不燃木材NMウッドを採用いただき施工後4年を経過した、陸前高田市役所(岩手県)と三春町役場(福島県)をそれぞれ訪問し、白華現象の発生状況の確認などのモニタリング調査を実施しました。

その結果、陸前高田市役所の議場天井ルーバー、三春町役場の桜ホール壁羽目板や天井ルーバーなどいずれも目立った白華現象は見られませんでした。



陸前高田市役所 議場天井ルーバー



三春町役場 桜ホール

短信 ショウウインドウ 全面リニューアル

パネ協東日本支所は、このほど、六義園ビル1階のショウウインドウの全面リニューアルを実施することとし、現在工事を進めています。

主な展示商品は、NMウッド、不燃ウォール、ヴィンテージストーン、ストーンパネルなどの内装用不燃化粧材、壁面化粧材アルマジロ、透彫壁材レーザーボードなどで、2025年10月中旬オープンを予定しています。

パネ協の安全管理に表彰

2025年6月、パネ協大阪支所は、株式会社松田組協力会(藤田勝彦会長)様から、瓦木小学校校長寿命化改修他工事(兵庫県西宮市)の施工に当たり、優れた安全管理により無災害で竣工したとして表彰を賜りました。

